

開発途上国の持続可能な発展を支える 世銀債

投資家の皆様へのお知らせ 2016年5月



尊厳
貧困の終結と
格差是正



2015年、国際社会の新たな目標である「**持続可能な開発目標 (SDGs)**」とパリで行われた「**気候変動枠組み条約**」の歴史的な合意を達成しました

これらの国際合意は今後15年の国際開発における意欲的な目標であり、どの国においても、如何なる人であろうと、平等に機会を得ることができ、かつ次世代のための地球環境を保護することを目指すものです

繁栄
適切な仕事の雇用の
強化と経済発展



地球
地域社会と次世代の
ためのエコシステム
の保護

「力を合わせれば、貧困層や脆弱な人々にとっての包括的で持続可能な成長、機会を促進する事ができます。**我々が極度の貧困に終止符を打つ世代になる事は、実現可能なのです。**」

ジム・ヨン・キム
世界銀行グループ総裁

「世界銀行の**持続可能な開発を支援する債券**を通じて投資家の皆さまには、教育、保健、栄養、インフラなどの様々な支援分野において、貧困撲滅と格差是正を目指す世界銀行の活動をご支援頂いております。」

アルンマ・オテ
世界銀行 財務担当
副総裁兼トレジャラー



人類
女性と子供を
含めた保健、
教育の実施



正義
安全で平和な社会
と強固な制度作り



協調
持続可能な開発に
向けた国際連携
の促進

世界銀行は世界の目標を達成するために重要な役割を担っています

「世界銀行」の名で知られる国際復興開発銀行は、極度の貧困の撲滅と持続的な繁栄の共有を促進するという二つの目標を掲げています。

2015年には、国際社会は、人々の生活環境と地球環境の持続性を向上させることにより、次の15年間の開発の進捗を加速させることを合意しました。合意した目標は、貧困、機会の不平等、不足する医療と教育、基本的な社会サービスへのアクセス不足、社会格差などに対処する17の目標の達成を目指すことです。

同時に、世界は頻繁に起きる深刻な自然災害、気候変動リスクの増大、資源の枯渇、前例のない規模の難民という重大な困難に直面しており、開発の進行を脅かしています。そのため、世界の経済成長、強靱性、機会提供を促進することがより緊急で重要な課題となっています。

世界銀行は、国際協調のパートナーとして、途上国が「グローバル目標」を達成することを支援しつつ、この意欲的な目標を達成するための重要なパートナーである民間部門の活躍も支援するという重要な役割を担っています。世銀債は、世界が直面している非常に困難な課題に対処する適切な開発の知見を活用し、途上国が持続可能な開発目標を達成するためのプロジェクトに資金面で支援する機会を投資家の皆様に提供しています。世界銀行が持つ50年以上に渡る開発の経験によって途上国の経済成長と、人的資源への投資、貧困からの脱却を支援しています。

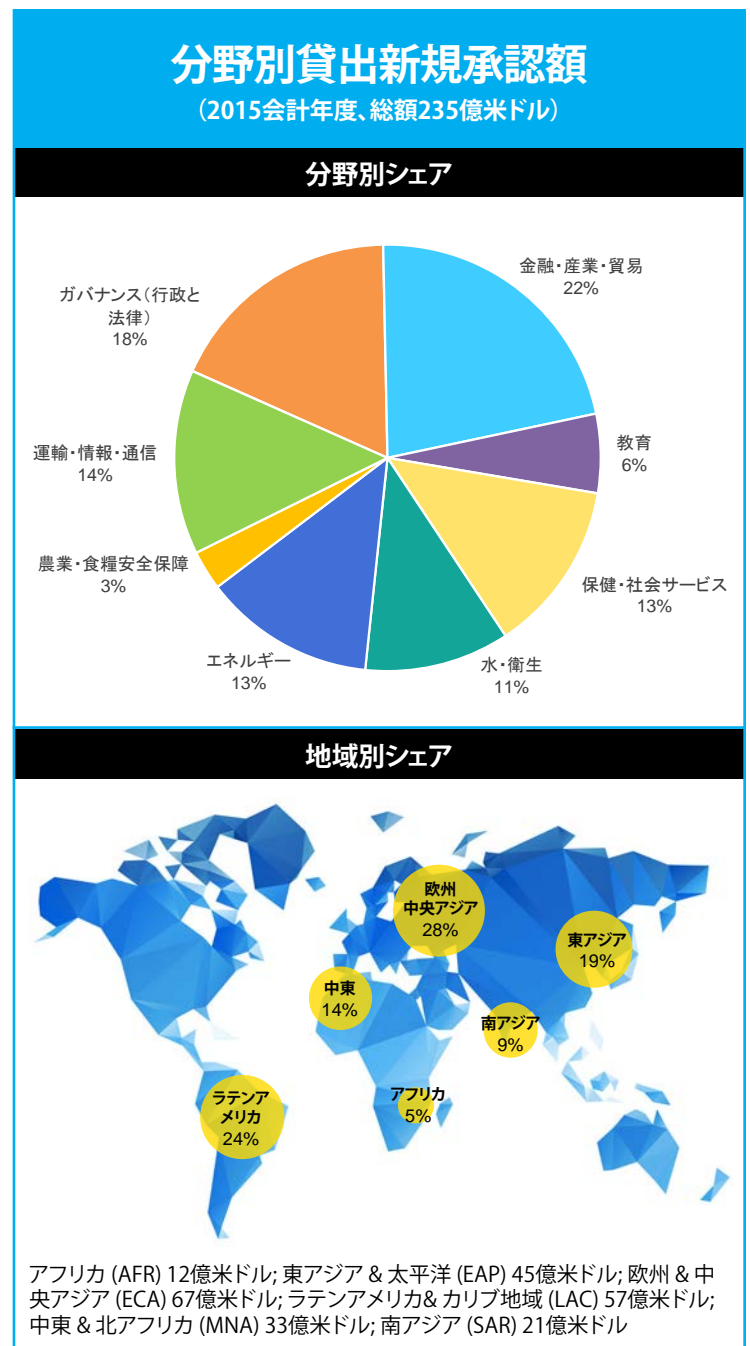
世界銀行による融資額及び借入額概要 (単位:10億ドル)

	2013年度	2014年度	2015年度
融資承認額	15.2	18.6	23.5
貸出残高	143.8	154.0	157.0
年間調達金額	26.6	50.6	58.0
借入金残高*	135.0	152.6	158.9

*デリバティブを除いたもの

最近の発行実績

NZドル6億3.5%グローバル債2021年1月満期
 豪州ドル5.5億2.8%グローバル債2021年1月満期
 米ドル50億0.875%グローバル債2018年7月満期
 米ドル10億1.75%グローバル債2023年4月満期
 米ドル30億1.375%グローバル債2020年3月満期



Photos: © Curt Carnemark / The World Bank

世銀債は、持続可能な開発に向けた金融的な支援と同時に極めて安全な投資を実現します。世界銀行は、強力な財務体質、堅実な財務政策、そして加盟国からの多大な支援により Aaa/AAA の格付を取得しています。こうした中、世界銀行のプロジェクトへの投資は、プロジェクトの選定及び評価をするためのプロセスも確立しています。

I. プロジェクト選定

世界銀行の全てのプロジェクトは、二大目標である貧困の終結と豊かさの共有達成に有効かを検証。プロジェクト例については、ページ3を参照。

II. プロジェクトの審査

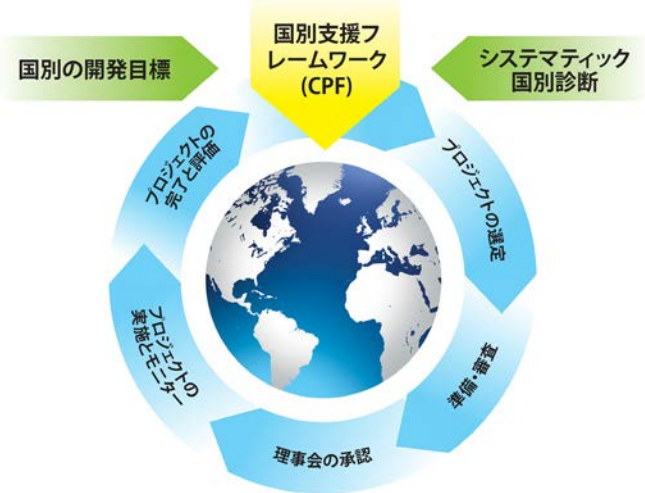
国毎の支援政策の優先項目は、システムティック国別診断 (SCD: Systematic Country Diagnostic) から貧困を削減するための最大の抑制要因や最大の機会を特定し、世銀の有する専門性や優位性から各国に合わせた開発プログラムの作成を国別支援フレームワーク (CPF: Country Partnership Framework) の枠組みに沿って展開しています。

加盟国への支援は、個別のプロジェクトやプログラムを選定後、環境・社会・財政の安定といった課題に適切に対処しているか審査・検証します。

プロジェクトは、理事会の承認を得るためには、国別支援フレームワーク及び世銀の二大目標である貧困の終結と豊かさの共有達成に一貫して順じている必要があります。

政府機関がプロジェクトを実施し、進捗について報告し、世銀は合意した最終目標を達成するためのマイルストーンを最低年二回の正式な調査を行い、モニターしています。

このような加盟国との関わりは、中間報告を得た変更・修正や、プロジェクト終了後に重要な教訓を洗い出すといった評価から支えられています。こうした評価は世銀グループの知識として蓄積され、将来の開発効果を高めることに繋がっています。



III. 世銀債で調達した資金の割り当て

世銀債で調達された資金は、流動性資産として世界銀行の厳格な方針のもと管理されます。対象プロジェクトへの資金の貸出は、世界銀行が定めた方針と手続きに従って実行されます。貸出は、各プロジェクトの成果が現れるまで何年にも渡って分割して行われます。

IV. プロジェクトのモニタリングと評価

掲げた目標の達成状況ならびに最終的な効果の分析や評価用データを収集するために、プロジェクト実施国政府及び世界銀行はプロジェクト実施の段階からプロジェクトの経過、成果、影響などモニタリングを行っています。プロジェクト情報は、世界銀行ホームページで公開されています。

詳細については以下のリンク先をご覧ください。

<http://www.worldbank.or.jp/debtsecurities/cmd/htm/index.html>

世界銀行の高い信用力を支える4つの柱

★ 安定的な貸出資産

- 様々な地域への貸出
- 貸出先は、加盟国政府、または加盟国政府が保証するプロジェクトのみ
- 借入国は世銀への出資国でもあるため、世銀からの借入金は優先的に返済
- 主要格付機関はローン借入国に対し世界銀行が優先弁済権を有する点を高く評価
- 国毎の貸出総額上限を設定
- 加盟国の借入金返済が遅れた場合には、当該借入れ国に対する新たな貸出を凍結

☂ 厳格な財務管理

- 貸出総額: 授権資本に内部留保を加えた広義の資本金未満
- Equity-to-loans ratio: 貸出総額に対する資本金の比率は20%以上を維持算出には純資本額を使用
- 請求払資本は、緊急時において、世銀の負債の元利金の返済のみで使用
- 為替リスクと金利リスクを最小限に抑える管理

💰 潤沢な流動性

- 健全な流動性資金: 6ヶ月先までの負債元利支払い予想最高額に、同年度内に実行予定のローン総額の半分を加えた額を維持
- 常に「目標値」を超える流動性を維持し、様々な状況に柔軟に対応できる体制
- 流動性資金の安全な運用: AAマイナス格以上の国債や機関債、AAA格の社債や資産担保証券 (ABS) で運用

🏛️ 出資国の強力な支援

- 189カ国の加盟国政府からの出資
- 払込資本に加え、加盟国は、緊急時の請求払資本の拠出を誓約
- 加盟国は請求払資本を他国の状況に関係なく、全額拠出する義務あり
- 上位出資国: 米国 (17.7%); 日本 (7.9%); 中国 (5.1%); ドイツ (4.6%); フランス (4.1%); 英国 (4.3%)
2015年6月末時点

世界銀行について: 世界銀行 (国際復興開発銀行、通称IBRD) は、189の加盟国が出資し運営する国際開発金融機関で、加盟国の公平で持続可能な経済成長を目指し、地域及び世界規模の経済や環境問題に効果的に対処していくために、中所得国に対し貸出・保証、リスク管理サービスに加え、開発に関わる様々な分野の専門的な分析・助言サービスを提供しています。世界銀行の目標は、世界全体の極度の貧困を終結し、すべての人々が共に豊かに暮らせるよう繁栄を共有させることです。

世界銀行グループについて: 世界銀行グループは、国際復興開発銀行 (IBRD)、国際開発協会 (IDA)、国際金融公社 (IFC)、多数国間投資保証機関 (MIGA)、投資紛争解決国際センター (ICSID) の5つの機関から構成されており、世界の貧困撲滅と繁栄の共有といった共通の目標を持っています。IBRDとIFCは資本市場で債券を発行し、資本市場で自らが資金を借入れています。

DISCLAIMER: This investor update has been prepared by the World Bank (International Bank for Reconstruction and Development, IBRD) for information purposes only, and the IBRD makes no representation, warranty, or assurance of any kind, express or implied, as to the accuracy or completeness of any of the information contained herein. This newsletter may include information relating to certain IBRD securities. Any such information is provided only for general informational purposes and does not constitute an offer to sell or a solicitation of an offer to buy any IBRD securities. The securities mentioned herein may not be eligible for sale in certain jurisdictions or to certain persons.

